

## 国家特別職 [高卒程度] 試験について

※正式には、各機関より発表される情報をご確認ください。

立法機関（国会）、司法機関（裁判所）で働く公務員については各機関が独自に採用試験を行い、行政機関においても一部の省では独自の採用試験を行っています。これらの試験についても、人事院の新しい採用試験と同じような制度に改正されることが予想されます。

特別職試験には「大卒程度試験」と「高卒程度試験」があります。

ここでは「高卒程度試験」について説明します。

### 【高校卒業程度】

- ◆裁判所一般職（裁判所事務官） [高卒者] ◆衆議院事務局一般職 [高卒程度] ・衛視
- ◆参議院事務局一般職 [高卒程度] ・一般職（技術） [高卒程度] ・専門職（衛視） [高卒程度]
- ◆国会図書館一般職 [高卒程度] （平成24年度から実施なし）

### ◆裁判所一般職（裁判所事務官） [高卒者]

裁判所一般職（裁判所事務官） [高卒者] 試験に合格して採用されると、裁判所事務官として各裁判所に配属され、裁判部門において裁判所書記官の下で各種裁判事務を担当したり、事務局の総務・人事・会計等の司法行政事務に従事します。裁判所事務官として一定期間在職すると、裁判所書記官養成課程の受験資格が得られ、合格すると約1～2年の研修後に裁判所書記官の資格が与えられます。

### ◆受験資格 ※2023年度

(1) 2023（令和5）年4月1日において、高等学校又は学校教育法に基づく中等教育学校（以下「中等教育学校」という。）を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者（2021（令和3）年4月1日以降に卒業した者が該当します。）及び2024（令和6）年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者。(2) 最高裁判所が(1)に掲げる者に準ずると認める者。

### ◆試験日程 ※2024年度

- ・申込み期間（インターネット）：7/1（月）～7/10（水） ※受信有効
- ・1次試験日：9/8（日）
- ・1次合格発表日：10/1（火）
- ・2次試験日（人物）：10/10（木）～10/24（木）のうち指定する日
- ・最終合格発表日：11/8（金）

### ◆試験種目 配点比率（全体を20とした各科目の配点比率）

1次試験：基礎能力試験（択一式）9/20、作文試験3/20

2次試験：人物試験（個別面接）8/20

## ◆衆議院事務局一般職〔高卒程度〕・衛視

### ◇一般職〔高卒程度〕

衆議院事務局内に勤務し、一般事務に従事します。

### ◇衛視

国会議事堂内における衆議院内部の秩序保持のため、警備や警護に従事します。衛視の勤務は日勤（9：00～17：30）と8日に一回の夜勤があります（週休2日制）。

## ◆受験資格 ※2024年度

### ◇一般職〔高卒程度〕

平成15年4月2日～平成19年4月1日生まれの者

### ◇衛視

平成14年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた者で、（a）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者。（b）衆議院事務局が（a）に掲げる者と同等の資格があると認める者。

## ◆試験日程 ※2024年度

- ・ 申込み期間（インターネット）：6/27（木）～7/11（木） ※受信有効
- ・ 1次試験日：8/24（土）
- ・ 1次合格発表日：8/30（金）
- ・ 2次試験日：
  - ◇一般職〔高卒程度〕 9/10（火）～9/13（金）のうち指定する日
  - ◇衛視 9/中旬（身体検査等）および9/中旬（個別面接試験）のうち指定する日
- ※国会情勢により変更する場合あり
- ・ 最終合格発表日：10月中旬

## ◆試験種目

### ◇一般職〔高卒程度〕

1次試験：基礎能力試験（択一式）、作文試験（1次試験合格者は基礎能力試験の成績で決定し、作文試験は、1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者の決定に反映）

2次試験：個別面接試験

### ◇衛視

1次試験：基礎能力試験（択一式）

2次試験：身体検査、体力検査、個別面接試験

**◆参議院事務局一般職 [高卒程度] ・一般職 (技術) [高卒程度] ・専門職 (衛視) [高卒程度]**

◇一般職 [高卒程度]

参議院事務局内に勤務し、主に総務部門の一般事務に配属されます。

◇一般職 (技術) [高卒程度]

参議院事務局内に勤務し、施設の整備、管理運営等の業務を行います。

◇専門職 (衛視) [高卒程度]

国会議事堂内における参議院内部の秩序保持のため、警備及び参観案内・防災消防業務を行います。衛視の勤務は原則交代制であり、日勤と夜勤 (8日に1回) があります。

**◆受験資格 ※2023年度**

◇一般職 [高卒程度] 平成14年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者

◇一般職 (技術) [高卒程度] 平成14年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者で、  
(1) 短大、高専、中等教育学校の卒業 (見込) 者、(2) 参議院事務局が (1) と同等と認める者

◇専門職 (衛視) [高卒程度] 平成15年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者で、  
(1) 高校、中等教育学校の卒業 (見込) 者、(2) 参議院事務局が (1) と同等と認める者

**◆試験日程 ※2023年度**

・申込み期間 (インターネット) : 6/14 (水) ~ 7/4 (火) ※受信有効

・1次試験日 : 8/19 (土)

・1次合格発表日 : 8/31 (水)

・2次試験日 :

一般職 [高卒程度]、専門職 (衛視) [高卒程度] 9月中旬以降

一般職 (技術) [高卒程度] 9月下旬以降

・最終合格発表日 :

10/31 (火) 以降

**◆試験種目 配点比率 (全体を4または5とした各科目の配点比率)**

◇一般職 [高卒程度]

1次試験 : 基礎能力試験 (択一式) 2/5、一般常識試験 (短文記述式) 1/5、作文試験1/5、事務適性試験1/5

2次試験 : 人物試験 (グループワーク、個別面接)、性格検査

◇一般職 (技術) [高卒程度]

1次試験 : 基礎能力試験 (択一式) 1/5、専門試験 (記述式※「機械」または「電気」を選択) 3/5、作文試験1/5

2次試験 : 人物試験 (グループワーク、個別面接)、性格検査

◇専門職 (衛視) [高卒程度]

1次試験 : 基礎能力試験 (択一式) 2/4、一般常識試験 (短文記述式) 1/4、作文試験1/4

2次試験 : 人物試験 (個別面接)、基礎体力検査、身体検査、性格検査

◆**国会図書館一般職 [高卒程度]** ※平成24～令和6年度は実施なし（平成23年度3種試験の内容）

国会図書館一般職 [高卒程度] に合格すると、国会職員（特別職国家公務員）として国立国会図書館の調査業務、司書業務、一般事務などの館務に従事します。欠員が出た場合に補充するので、採用者数は1人か2人と、高倍率の試験になっています。

◆**受験資格**

18歳以上24歳未満の者で次に掲げる者。

- ・ 高校・短大・高等専門学校等を卒業した者・卒業見込みの者（ただし、大学卒業以上の学歴を有する者・大学を卒業見込みの者を除く）

◆**試験日程** ※平成23年度3種試験の日程 ★平成24～令和6年度は実施なし

- ・ 申込み期間（特定記録郵便による郵送のみ）：8/22（月）～9/2（金） ※消印有効
- ・ 1次試験日：9/24（土）
- ・ 2次試験日：10/24（月）
- ・ 最終合格発表日：10/28（金）以降

◆**試験種目 配点比率**

1次試験：教養試験（択一式）、英語試験（記述式）、作文試験

2次試験：個別面接、性格検査